

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	多文化共生推進事業			事業番号	038-051
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	人権教育

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①個性や違いを認め自他ともに尊重できる心の育成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	「自分にはよいところがある（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合		
		寄与するKPI	有	現状値	小6 83.1%、中3 73.2%(2019年度)	目標値	小6 90.0%、中3 90.0%(2025年度)
		有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		有	取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—			
2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度	平成 5 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校教育法 ■ 児童の権利に関する条約					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立学校園の幼児児童生徒	対象数	63,000	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	さまざまな国や地域の文化や歴史等について正しく認識し、人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた人間を育成する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ■ 在日外国人教育研究会と共催し、研修会の開催、ハギハッキョ、ワールドハッキョ、ワールド・子どもの集い、多言語進路ガイダンス等を実施。 ■ 市立学校園に在籍する海外から帰国して間もない幼児児童生徒及び外国から来日して間もない幼児児童生徒が、学校園生活において十分に能力を発揮できるように、日本語指導センター校での日本語指導をはじめとする自立のための指導を行うため、日本語指導員等を派遣。 				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市在日外国人教育研究会				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度
	大規模参加型での交流事業への参加幼児児童生徒数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
			0	2,200	2,200	2,800
			実績値	0	0	
達成率	—	0%				
	当該指標を選定した理由	より多くの児童生徒が互いの国や地域の文化や歴史等について正しく認識し、人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた人間を育てるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	交流事業へ全学校園 2 人ずつ参加を予定した時の合計値。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての交流事業が中止となったため目標値を見直し。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	各学校園における交流事業の開催回数	回	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			50	50	50	
			実績値	40	28	
達成率	80%	56%				
	当該指標を選定した理由	人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた人間を育成するには、児童生徒にその機会を提供する必要があるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立学校園数×1/3を目標とする。				

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	多文化共生推進事業	事業番号	038-051
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	15,965	17,255	20,573	21,923	20,614
財源					
国支出金	4,493	5,093	6,047	5,959	6,047
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	11,472	12,162	14,526	15,964	14,567
14 人件費 (b)	2,720	1,640	1,640	1,640	1,620
15 年間経費(c)=(a)+(b)	18,685	18,895	22,213	23,563	22,234

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源	
					R4	R5			
事業費内訳	在日外国人教育研究協議会等負担金	R4 決算	1,050	1,050	多文化学習支援員謝礼金	R4	決算	49	49
		R5 予算	1,104	1,104		R5	予算	110	110
	自立支援日本語指導員等謝礼金	R4 決算	19,872	13,913		R4	決算		
		R5 予算	18,143	12,096		R5	予算		
	費用弁償	R4 決算	0	0		R4	決算		
		R5 予算	445	445		R5	予算		
	その他備品購入費	R4 決算	402	402		R4	決算		
		R5 予算	267	267		R5	予算		
	消耗品費	R4 決算	550	550		R4	決算		
		R5 予算	545	545		R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 交流事業への参加幼児児童生徒数	人	0	60
② 上記①にかかる年間経費	千円	0	11
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		183

備考 (算出についての説明等) 令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流事業をオンラインで実施。②に関しては、全体経費から日本語指導員派遣にかかる経費を除いたものとして計上。

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和4年度については、参集による交流事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施することができなかったが、オンラインによる交流事業などを実施し、子どもの国際理解教育に寄与することができた。
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	参集による交流事業が実施できず、参加幼児児童生徒数を増やすことはできなかった。 しかし、オンラインによる交流事業を実施することで、外国にルーツのある子どもの自尊感情の醸成に寄与することができた。 また、国際理解教育を通して、外国にルーツのある子どもの自尊感情の醸成に寄与することができた。
----	--